

大地震で警察庁舎損壊想定

玉野高に通信機能移設



玉野高の会議室で3年生が見学する中、訓練に当たる玉野署員

玉野署が臨時署開設訓練 情報収集の手順確認

玉野署は21日、玉野高校で、大規模地震による被害で庁舎が使用できなくなった際に拠点となる「臨時警察署」の開設訓練を実施した。署員が庁舎から通信機能を移設し、情報収集や指揮の手順を確認した。

ターを臨時警察署とする協定を11年8月に結んだ。

玉野高での訓練は初めて。東南海沖を震源とする震度5強の地震で玉野署庁舎が損壊したとの想定で、署員17人が参加した。署員は無線や衛星電話を車両で運び、玉野高の会議室に設置。がけ崩れや家屋倒壊、高潮、けが人の有無など市内の被害情報を集め、署員に現地に向かうよう指示した。

高見浩三署長は「今後も訓練を定期的に行い、常に万全の態勢で備えたい」と話した。



玉野署は2004年、台風16号による高潮で床上50センチまで浸水し、駐車場などの公用車16台が水没して使用不能となった。このため、地震や津波で庁舎が被害を受けて機能不全になった場合、玉野高と玉野スポーツセンター

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。